

ソフトウェア設計法及び演習 / ソフトウェア工学概論及び演習 設計演習 2

設計演習の日程

6月29日 演習およびレポート作成（次回講義の開始前までに解答を作成し、持参すること）

次回講義(1組: 7月6日, 2組: 7月13日) 設計結果のレビュー（提出期限: 同日, 講義中に回収）

レポートの作り方

- ポータルサイトの授業資料から、レポートのフォーマットをダウンロードして使用すること
- A4 縦の表紙に、講義名、担当教員名、レポート作成者の学籍番号および氏名を書くこと
- 共同作業者の学籍番号と氏名（共同作業者が学生でない場合、番号は不要）を明記すること
- 必ず Astah*で描画した設計結果（手書き不可）を載せること
- 参考文献やウェブサイトを参考にしたときはレポートの最終ページに明記すること
- ホッチキスで A4 縦の用紙をとめるとき、左上にとめること

注意

- 以上 6 点のレポートの作り方は重要（無視されている場合は減点の対象）。
- 解答は自分で作成すること。
 - 無断で書き写した解答は大きく減点され、関係者全てが減点の対象となる。本演習は共同作業による解答を推奨する。共同作業者の学籍番号と氏名を明記すること。
 - インターネットのサイトから完全にそのままコピーしたと分かる場合も、採点対象とならない。引用をしたときは最終ページに URL の明記を忘れないこと。
- 解答を記述する際は、ワープロで、他人も読むことができる文字で記述してください。

問 1: ハット NE カフェテリアのオブジェクト指向分析・設計

シナリオ

日本大学工学部のハット NE カフェテリアのシステムをオブジェクト指向で分析・設計するプロジェクトが立ち上がりとしています。そのためには、現状を分析する必要があります。今回、私達はハット NE カフェテリアの現状をオブジェクト指向に基づく分析・設計を担当します。

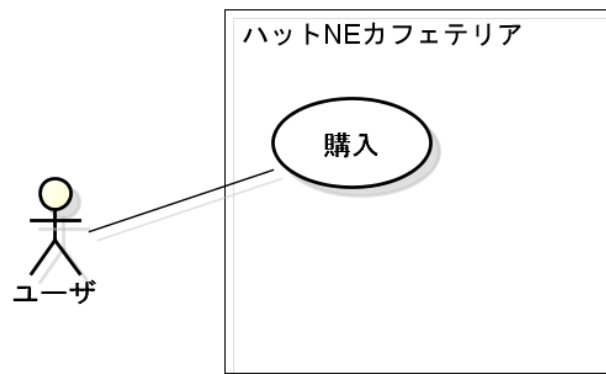


図 1. カフェテリアのユースケース(「購入」のみ)

問題

ハット NE カフェテリアの現状を関係者と議論するために、以下の前提条件を踏まえ、(1)から(4)のUML図を作成せよ。次に、作成した各図を分析し、分析から得られた考察を記述せよ。

(1) ユースケース図

ユースケースとして「購入」を必ず含めること。

「購入」に関するシナリオを記述すること。

(2) クラス図

(1)で作成したユースケースおよびシナリオと対応していること。

本課題では、クラス名のみとし、データ属性およびメソッドは省略してもよい。

(3) シーケンス図

クラス名等が(1), (2)で作成したユースケース図とクラス図と対応していること

(4) ステートチャート

(5) 考察

以上